

平成 20 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名 株式会社 イーウェーブ
代表者名 代表取締役社長 滝澤 正盛
(コード番号 3732 大証 ハラクス グロース)
問合せ先 専務取締役
(経営企画室担当) 奥野 貴嗣
TEL. 06 - 4705 - 3901

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 5 月 15 日の決算発表時に公表した平成 21 年 3 月期(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1 平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想数値の修正(平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

①連結業績予想の修正 (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	4,301	190	184	90	3,821 円 66 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	3,927	125	124	72	3,057 円 32 銭
増 減 額 (B-A)	△374	△65	△60	△18	—
増 減 率 (%)	△8.7	△34.2	△32.6	△20.0	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 20 年 3 月期第 2 四半期)	4,082	190	193	88	3,771 円 52 銭

②個別業績予想の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	3,283	173	188	145	6,157 円 11 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	2,970	136	154	136	5,774 円 95 銭
増 減 額 (B-A)	△313	△37	△34	△9	—
増 減 率 (%)	△9.5	△21.4	△18.1	△6.2	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 20 年 3 月期第 2 四半期)	2,954	174	227	139	5,931 円 54 銭

2 平成 21 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

①連結業績予想の修正

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	9,654	664	652	330	14,012 円 74 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	8,806	460	453	246	10,445 円 86 銭
増 減 額 (B-A)	△848	△204	△199	△84	—
増 減 率 (%)	△8.8	△30.7	△30.5	△25.5	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	8,681	619	622	269	11,431 円 26 銭

②個別業績予想の修正

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	7,779	582	591	366	15,541 円 40 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	6,912	436	450	303	12,866 円 24 銭
増 減 額 (B-A)	△867	△146	△141	△63	—
増 減 率 (%)	△11.1	△25.1	△23.9	△17.2	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	6,449	545	597	333	14,160 円 09 銭

3 修正の理由

当第 2 四半期累計期間は、景気の先行き不透明感が高まり、企業の業績悪化から情報化投資への慎重姿勢もより鮮明となりました。このような環境の下、開発案件の立ち上がりの遅れや延期などが発生した結果、売上が下期以降へとずれ込み、当初の予想を修正するに至りました。

第 3 四半期以降につきましては、上期の仕掛案件が多く、順調に売上が見込めるものの、今後の新規案件の立ち上がりは、世界的な金融不安による景気後退懸念が大きく、国内企業の情報化投資に対する意欲はもう一段の低下が見込まれ、通期の業績についても予想を修正することとなりました。

通期業績は、当初の予想より低下する見込みですが、新規顧客の獲得や、生産性の一層の向上、コストの削減により、売上、利益共に業績の上積みを目指してまいります。

（注）上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上